



「ZERO」達成…

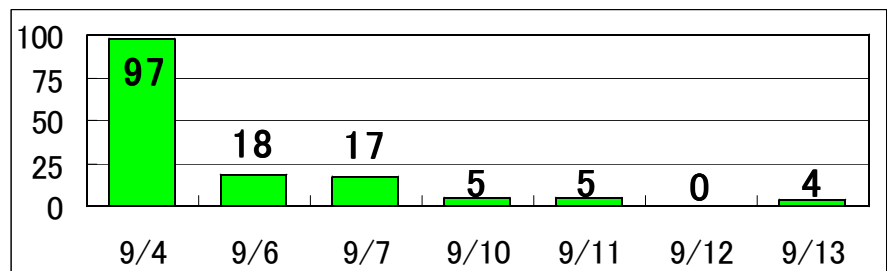
『部活動終了時刻（帰りの会終了時刻）』から15分後の「下校完了時刻」をすべての生徒が守ろう』と呼びかけて6日目、ついに「0（ZERO）」を達成しました。You can do it if you try.

本校では、「時を守れ」「場を清め」「礼を正せ」を合言葉にしています。「時を守れ」では、朝の遅刻や授業2分前着席などに重点的に取り組んできましたが、下校時刻はあまり意識していませんでした。

でも、日暮れが早くなるため、下校時の安全面から考えて、2学期は「下校時刻」に意識して取り組むことにしました。初日は、全く変化が見られませんでした。先生方が大声で呼びかけたり、下校時に音楽を流したりしていくうちに、生徒たちの行動に変化が見られるようになってきました。部活動が終わって急いで後始末をする姿、自転車置き場に走ってくる姿…、「さようなら」の声もだんだん大きくなってきました。

9月12日、「ZERO達成記念日」になりました。しかし…、残念ながら続きませんでした。まだまだ“本物”ではありません。

今日は、今週最後の日。再び0になるか、それとも…。みなさんの実力が試される日です。



本当の「防災教育」とは…

先日、大雨・洪水警報の発令に伴い、午前中「自宅待機」という事態が発生しました。詫間中学校では、①午前6時に警報が出れば「自宅待機」、②午前11時までに警報が解除になれば「午後1時から授業」、③午前11時までに警報が解除にならなければ「臨時休業」ということを、6月4日付けのプリントで各家庭に配付するとともに、詫間中学校のホームページにも掲載しています。

しかし、6月19日に発生した台風4号は、午前6時20分過ぎに警報が発令されました。つまり、6時の時点では警報は出ていなかったこととなります。でも、多くの方は登校時に警報が出ていたので自宅待機と判断していただきましたが、「本校の対応」には明記されていなかったため、学校に問い合わせの電話が20件以上もかかってきました。その対応に追われ、マチコミメールの発信が大幅に遅れてしまいました。

そして、今回、問い合わせの電話は8件でした。しかし、このほとんどは、防災無線で「小・中学校からの連絡」として放送があり、その中で「8時までに解除になれば登校して午前中授業」というアナウンスがあったために、本校の対応とは違うことに不安を感じた方が、確認のために電話をされたというものでした。（ちなみに、「8時までに解除になれば…」というのは、小学校での対応であり、三豊市の中学校でも同じような対応をしている学校も一部ありますが、本校は校区も広く、スクールバスを運行している関係で、8時に判断して登校するのは難しい状況にあります。）テレビ、ラジオ、インターネットなどで自ら情報を得て、本校の対応をもとに判断される方が増えてきていると感じました。

本当の「防災教育」とは、地震・台風などの自然災害を、自分自身への身近な危険として認識し、必要な知識を持ち、日ごろから備えるだけの教育ではなく、いざというときにどう動くかという「判断力」を身に付ける教育も含まれていると思います。東日本大震災で、釜石市内の約3000人の小中学生が押し寄せる巨大津波から逃れたことから“釜石の奇跡”と呼ばれましたが、この奇跡を支えたのが、「想定を信じるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」の「避難の3原則」でした。

大きな災害が発生した場合、自らの情報収集・自己判断で行動しなければなりません。今後、「防災教育」の視点から、警報発生時の防災無線やマチコミメールの在り方についても検討していきたいと考えています。

◆◆◆◆◆◆◆◆ お知らせ ◆◆◆◆◆◆◆◆

県道紫雲出山線（詫間町香田）において、道路整備工事が始まるため、大型トラックが頻繁に通行するようになります。登下校時には十分注意してください。工事は、平成25年3月15日まで予定されています。